

はぐくむ委員へのアンケート調査結果

1. はぐくむ委員会でやりたいこと（やってみたいこと）を記載してください。

- ・条例を作るのは、これで良いと思いますが、市民にはもう少しわかりやすく広報して参加しやすくしたいです。
- ・地域現場での研究・調査
- ・昨日の作業ではないですが、協働を感じられる活動をやってみることでしょうか。具体的に協働って、こういうことか??と、実感してもらえると人に伝えるときでも分かりやすくなるかと思います。また、この条例を活かしている例を、調査すると、理解も得やすいのではないかと思います。
- ・今年度のはぐくむ委員会の最初の会議で市長のメッセージについてはほとんどの市民が理解していることであり、行政主導で、本来、具体化すべき問題と考えています。但し、はぐくむ委員会が会議を重ねて先行し、行政のバックアップがあれば可能と思います。（将来の橋本の再生と安心した暮らしを如何にとり戻すか？）
- ・地域づくり、地域住民の意識を高める、具体策づくり
- ・YouTube 他の委員会、市役所の他の課の方々との勉強また懇談会 市議会との勉強会また懇談会 子どもパンフレット作り！ まなびの日出展 アンケート
- ・地域の運営に条例をどういさせるかを確認したい。
- ・ボランティア活動を振り返ってみて、時間の許す限り身近な事で自分にできる社会活動に参加することで地域と関わり、住んでよかったと思われるまちづくり？それには住民同士の笑顔で挨拶、人に対する思いやり、協力、助け合いの気持ちを忘れずに明るく付き合う事に心がけてまちづくりに協力したいと思っています。
- ・協働がより進むようにやっていきたい
- ・藪さんがしてくださっている、子ども向けのパンフレットを完成させたいです。それに合わせて、授業形式のような対面でも説明出来るようなかたちが作れたらと思います。
- ・①はぐくむ委員以外と一緒に取り組む何か（はぐくむサポーター・市役所職員など）。②オンラインでの企画。③今回、4回生の学生がいることから、人によって参加しやすい日時も違うのだなぁと改めて感じました。平日の昼間・平日の夜間・週末など、誰もが参加しやすい方法は？と考えています。

2. はぐくむ条例について、気になることはありますか？

- ・協働の部分が少しわかりにくいです。
- ・市民の認知不足
- ・広報の仕方を考えています。
- ・しくみと組織と課題の具体化を明確化し熟考した上で一步踏み出す。（広報、回覧等で何回も発信し、市民の理解を得ることが肝心）

- ・いろいろ有ります。具体策が必要
- ・地域運営組織の進捗状況
- ・地域差が気になります。
- ・「条例の中に具体的なことがかいていない」と言った方がいたので、よりわかりやすい状態をめざしたいと思った。
- ・条例そのものでは、とくにありません。地域運営組織設立に向けての進み具合は、気になっています。

3. グループ分けについて、あなたの考えに一番近いものを教えてください。

① 3 グループに分ける

11 件 84.6%

② 2 グループに分ける

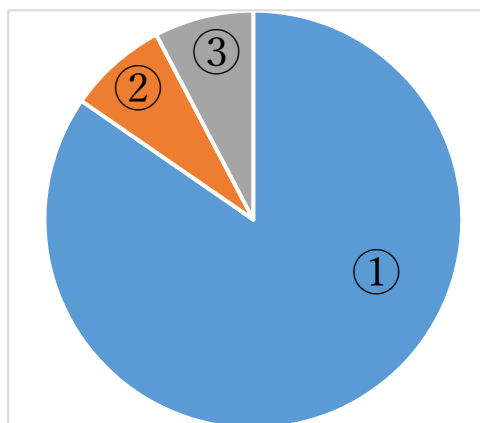
1 件 7.7%

③ 同じテーマでグループ検討

1 件 7.7%

④ グループ分けしない

0 件 0%



4. グループ分けをすれば、どのような分け方が良いと思いますか？（例1：情報共有、市民参画、協働のまちづくりの3つのテーマに分かれる）、（例2：情報共有を3グループに分かれて実施する）

- ・グループ分けは良いと思いますが、各グループの差別化が出来ているのかなと思います。
- ・市民参画の在り方を学ぶ機会に。
- ・全員のスケジュールを合わせるのは難しいので、小グループで話し合うことが必要かと思います。また、新しく委員になってくださった方を、各グループに入ってもらえると新しい気づきになると思います。
- ・橋本のかかえる現状と問題点、市民参画の囲い込み、橋本の将来像（再生した橋本）
- ・同じテーマで3グループ
- ・調査2の結果をもとに、①個人のやりたいことを一覧表にまとめる。（事務局） ②やりたいことが近い人を集め、3グループに分ける。（事務局） ③会議の前に、一覧表と3グループのメンバー割を配布する。（事務局） ④委員は一覧表、グループメンバーを、確認し、自分のグループの活動を検討する。 ⑤委員は会議の前に、自分のグループで出来ることを事務局へ提出。 ⑥提出されたものを参考に、事務局が更にまとめ、実際の会議で提案する。（事務局） ⑦委員は会議において事務局が提案してきた内容をグループごとに検討し、活動内容を決める。

- ・前回の自主勉強会で協働のまちづくりは情報と市民参画があつてこそだから、、、という話を聞いて、確かにと思いました。なので3つではなく2つをしてからみんなで協働を考えていけたらいいと思いました。また、グループ分けにして頂いたほうが深い話をしやすく思います。今はまだ、なにがわからないかもわからない状態なので担当があればもっと深められると考えました。
- ・PDCA を継続する場合は同じ委員会を継続することになり、チェックして、改善点があれば変更する。プランから再度始める場合には二年の計画を立てる所からになると思います。どちらにしても、性別や年齢、継続しているメンバーと初めての方など偏らないよう案は作られた方がいいと思います。
- ・例1のグループ分けが良いかと思います。
- ・例1のように3グループに分けて
- ・意思疎通、意見交換しやすい人数が3グループに分けるくらいの人数だと思います。認知度や理解度の低さを考えると、土台の部分や周知方法など前回から引き継いですることで分けても良いかと思います。制限がある中でも、出来ることからしっかりと検証や周知が出来たらと感じます。
- ・例1、2が良いと思いますが、どちらが良いかとなると決めかねます。

5. 第1回会議に参加して、気になったことや要望等あれば記載してください。

- ・多様な参加者で良かった。
- ・気になったことではないのですが、皆さんの意見を求めるときには、となりの人と相談してみましようのような時間があると良いかと思います。2人〜3人で、話し合ったことを、出し合ひましようと言うことなら、いろんな意見が出てくると思います。これからの会も、楽しみにしております。
- ・はぐくむ委員（企画）と行政（バックアップ）と市民（誘い込み）の課題が一致しひとつにまとまるかが、不安である。
- ・委員のいろんな意見を聞く
- ・会場が広いので、聞き取りやすいように、是非マイクを使っていきたい。寒かった。
- ・とくに問題ありません。宜しくお願い致します。
- ・気になる所はないです。
- ・委員各々が意見を言える雰囲気がよいので、今後もそうあつてほしい。
- ・班で分けたとしても、今まで通り、全体への報告と相談をしっかりと出来たらと思います。意思疎通や相互理解を大切に、スキルを持った素晴らしい方々がいらっしゃるので、発案や工夫が色々できると良いですね。
- ・来期に向けての要望です。初めて参加する人が、気後れしないように、という視点を忘れずにいてほしいです。